

令和 3 年度生涯学習センター講座策定の指針

☆今後の講座策定の基本指針について

2021 年度はコロナウィルスの感染拡大状況によりますが、講堂講座は約 25 講座 105 コマを予定しています。子どもから、子育て世代も含む幅広い世代へ向けた、開かれた教養講座として新たなジャンルの企画を積極的に立案していきます。生活実技講座は、約 50 講座 200 コマを予定しています。講座数は 15 増ですが 200 コマなので上限 220 には、まだ余裕があります。他の自治体における生涯学習施設では、取組みとしては企画しているものの実際に起案できず実施を他の知事部局にお任せしている実態が多い乳幼児の講座や、幼稚園・保育園（主管課が異なる）児から、小学生から中学生までのすべての義務教育就学年齢対象講座の策定を積極的に行ないます。および介護補助を目的とした講座も積極的に策定する予定です。今まで実施困難であった「ゆり籠から墓場まで」という乳児から終活（介護世代含む）を考える世代までの、幅広い年齢層に対応できる、理想とされる生涯学習の拠点を目指したいと思います。また、他の行政機関との連携を促進していきたいと考えています。

★「農工大連携講座」

例年、「一般市民が身近に感じられるテーマ」ということで、農工大ならではの専門性を生かし、市民個人の学歴や教養レベルに関係なく受講でき、分りやすいテーマということで、講師の選出は農工大に一任されてきました。

2021 年度からは、講演を依頼する教員を、センターの方で指名させてもらいたいと要望しました。理由は、学歴や教養レベルに関係なく受講できるレベルにない講座もあることや、市民が欲する講座テーマ、講師が固定化して、必ずしも市民のニーズに合っていないという点です。なお、大学内の学部間関係もあるので担当部局（学部）の順番は、大学に一任するという要望をしております。

【東京農工大学からの回答】

国立大学機構東京農工大学 2021 年度連携講座依頼内容（3 月に開催決定）

1. 令和 4 年 3 月 12 日（土）

部署：グローバルイノベーション研究院テニュアトラック推進機構

テーマ：「ヒトの健康増進に寄与する機能性健康食品の正しい選び方」

講師：農学部 准教授（テニュアトラック）宮本 潤基 氏

2. 令和 4 年 3 月 19 日（土）

部署：農学部附属動物医療センター

テーマ：「愛犬家・愛猫家には是非聞いてほしい最先端の動物医療と課題」

講師：動物医療センター長 福島隆治 氏

国立大学機構東京農工大学

2021 年度府中市連携講座

我が国を代表する農学系大学の1つとして数々の研究成果を生み出してきた東京農工大学の知名度ある教師陣が、興味深いテーマで皆様に教授します。

1つ目は、膨大な数で選びきれない機能性健康食品から、本当に自分の健康増進に効果があるものだけを選ぶ方法を伝授してくれます。

2つ目は、愛犬家・愛猫家の多い府中市民には必見の動物医療についての、府中では今までにない講座です。お子様連れでも結構ですのでご来場ください。

1. 令和4年3月12日（土）

部署：グローバルイノベーション研究院テニュアトラック推進機構

テーマ：「ヒトの健康増進に寄与する機能性健康食品の正しい選び方」

講 師：農学部 准教授（テニュアトラック）宮本 潤基 氏

2. 令和4年3月19日（土）

部 署：農学部附属動物医療センター

テーマ：「愛犬家・愛猫家には是非聞いてほしい最先端の動物医療と課題」

講 師：動物医療センター長 福島隆治 氏